

委員会の行政

民生病院委員会



▲ゼロ・ウェイストの拠点となっている日比ヶ谷ゴミステーション（上勝町）

平成25年10月29日～31日

徳島県上勝町「彩事業について」、「ごみの取り組み」

兵庫県洲本市「あわじ環境未来島構想」

兵庫県淡路市「メガワットソーラー」

大阪府堺市「堺市クリーンセンター臨海工場」

今回は、高齢者生きがい事業、自然エネルギーの活用、処理施設を含むごみの取り組み等について先進事例を視察しました。その中でも、ごみの問題については、ごみのゼロ・ウェイスト宣言を行っている上勝町にて、ごみをなるべく排出しないリサイクル・リユースについて視察を

行い、さらに堺市クリーンセンター臨海工場では、事業方式、処理方式、エネルギーの有効活用等の視察を行いました。

当委員会の重要課題である新中間処理施設の施設整備に向け、これらの事例を参考に、安全安心の施設整備を推進していきます。

建設水道委員会



▲市街化調整区域であった武蔵野操車跡地に、平成21年9月に開業したらぼーと新三郷（三郷市）

平成25年10月29日～31日

埼玉県三郷市「新三郷駅周辺の土地利用」

群馬県太田市「水道事業包括業務委託」

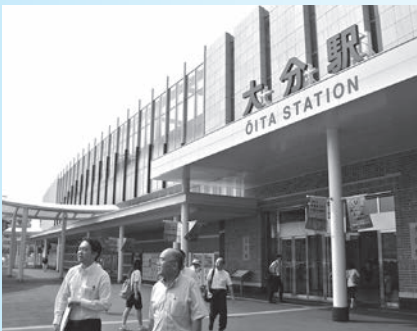
栃木県佐野市「スマートICを活用したまちづくり」

埼玉県三郷市、群馬県太田市、栃木県佐野市において、先進事例を視察しました。

特に本市が検討を進めている土地利用の変更に伴う地区整備計画策定への取り組みを三郷市全体のまちづくり状況とともに伺いました。大型商業施設の設置を含む「新三郷ららシティ地区計画」の詳細を説明して

いただき、事業開始時における土地利用の考え方や、地区計画の概要及び目指すまちづくりについて、そして施設開業後の施設利用者数の推移や周辺の既存商店街への影響、税収の変化、地元住民の雇用状況、まちづくりに対する市民・事業者の反応等について視察しました。

沼津駅鉄道高架事業 推進特別委員会



▲連続立体交差事業により一新された大分駅（大分市）

平成25年7月30日～8月1日

大分県大分市「JR大分駅付近連続立体交差事業及び大分駅周辺総合整備事業」

福岡県春日市「西鉄天神大牟田線連続立体交差事業及び春日原駅周辺総合整備事業」

福岡県北九州市「JR折尾駅周辺連続立体交差事業及び折尾地区総合整備事業」

大分市の事業は、平成8年3月に都市計画決定され、日豊本線と久大本線を高架化することにより、本市と同じ13カ所の踏切が除去されました。駅南土地区画整理や関連街路事業もほぼ完成し、10年前と比べ、県の玄関口として面目を一新、駅南北の往来や、都心機能が見違えるほどよくなりました。春日市の事業は、平成13年10

月に都市計画決定され、現在の進捗率は35%です。春日原駅東西の交通動線の確保と12カ所の踏切除去を予定しています。北九州市の事業は、学園都市の玄関口である折尾駅南側の区画整理とともに、筑豊本線や鹿児島本線等を立体化し、利用しやすい駅と駅前広場を確保するもので、絶大な効果が期待されています。